

営農情報（小麦）

～赤かび病防除と今後の管理について～

令和8年3月19日
福岡大城農業協同組合
南筑後・久留米普及指導センター

麦の生育は早く、莖立期は平年・昨年よりやや早くなりました。2月中旬以降の気温上昇と周期的な降雨により、生育が一気に進み、出穂は昨年より早まると思われます。出穂期は、赤かび病防除時期や穂揃期追肥の時期を決める大事な目安です。それぞれのほ場での状況をしっかり確認して、今後の管理作業の準備をしてください。

また、今後の降雨は麦の収量・品質に大きく影響します。枕地や排水溝を整備し、ほ場内に滞水しないよう排水対策を徹底しましょう。


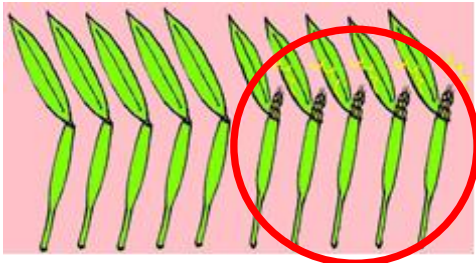
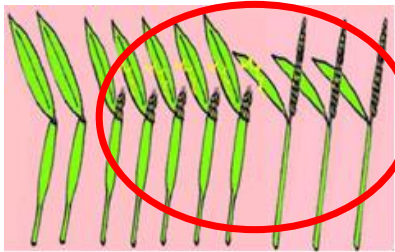
1 赤かび病防除

「赤かび病」は麦の収量・品質に大きく影響するだけでなく、赤かび病菌が産出するカビ毒（デオキシニバレノール等）は重大な健康被害を引き起こす要因となります。確実に防除を実施し、赤かび病の発生を防ぎましょう!!

| 品種 | 予想出穂期 | 11月20日播種小麦の防除時期（目安） | |
|---------|----------------|------------------------|------------------|
| | | 1回目（開花最盛期） 出穂7～10日後 | 2回目 1回目の5～7日後 |
| シロガネコムギ | 3月27日～ 4月1日 | 4月上旬ごろ | — |
| ちくしW2号 | | | 4月中旬ごろ |

※防除時期は、11月20日に播種、今後の気温が平年並の場合の予想出穂期を基にした目安です。今後の気温によって出穂状況は変動します。必ず、ほ場の出穂状況を確認してください。

※ちくしW2号は赤かび病にやや弱いので、2回目の防除も確実にいきます。シロガネコムギであっても、開花期に雨が多い場合は、2回目の防除を行ってください。

| 出穂期 | 穂揃期 |
|--|--|
| 全莖数の40～50%が出穂した日 ※止葉の葉鞘から穂の先端が現れたら出穂 （「ぼう」は含まない） | 全莖数の80%以上が出穂した日 |
|   |  |
| 出穂 穂の先端が出ている莖が全体の5割 | 莖の全体の8割が出穂 |

<裏面に続く>

【赤かび病防除薬剤】

| 体系 | 農薬名 | 希釈倍率 | 10a 当たり 散布量 | 使用回数 | 収穫前日数 |
|----|---------------|--------|----------------|----------------|---------|
| 液剤 | ミラビスフロアブル | 2000 倍 | 100L | 2 回以内 | 7 日前まで |
| | トップジン M 水和剤 | 1000 倍 | 100L | 出穂期以降 2 回以内 | 14 日前まで |
| 粉剤 | トップジン M 粉剤 DL | - | 4 kg | | |

2 穂揃期追肥（ちくしW2号）

ちくしW2号は、子実タンパク質含有率（目標値 12.0%）を確保するため、穂揃期追肥の実施が必須です。生産者ごとのばらつきをなくし、一丸となって JA 福岡大城の小麦品質を向上させるため、確実に実施してください。

| | 1 回目 | 2 回目 |
|-----------------------|---------------------------------------|--------------------------------|
| 尿素 赤かび病防除 と同時実施 | 開花期（出穂 7～10 日後） 4kg/水 100L/10a | 1 回目の 5～7 日後 4kg/水 100L/10a |
| 硫安 | 穂揃期～その 7 日後 （出穂 10 日後） 20kg/10a | — |

※生育が旺盛で過繁茂なほ場、1月上旬に追肥したほ場や葉色が薄いほ場、雑草が多発生しているほ場の場合、尿素を 5kg/10a に、硫安を 25kg/10a に増やします。

3 黄斑病対策

コムギ黄斑病は令和 6 年産小麦で多発生し、収量・品質を大きく低下させました。2 年前に多発生したほ場、特に大豆あとでは発生する可能性が高いため、ほ場での発生状況を必ず確認してください。

なお、赤かび病防除薬剤として栽培こよみ掲載の「ミラビスフロアブル」が黄斑病の登録拡大がされました。「ミラビスフロアブル」は、開花期散布の赤かび病との同時防除でも、一定の抑制効果が認められています。発生状況に応じて、薬剤を選択してください。



4 排水対策

雨水がほ場内に溜まったままとならないように、うね溝と枕の横溝との交差部分は溝をさらい、排水口までしっかり連結させて、ほ場外へ確実に流れ出るようにしましょう。

【農薬の安全使用上の注意】

- ① 散布前に必ず農薬ラベルの登録内容等を確認！
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- ③ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- ④ 防除履歴の正確な記帳！